

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文庫	症例	適正使用情報	感染症(ワ)	出典	概要
												異型クロロイツ フェルト・ヤコ ブ病	SEAC/Position Statement 2007年6 月13日	英国保健省はSEACに歯科治療処置を介したvCJD伝播 のリスク概算を目的とした初期研究の知見についての助 言を求めた。初期研究では、歯科処置によるvCJD伝播の リスクが予想より高いことが示唆された。ガイダンスは今 年初め歯科治療器具の使い捨てを勧告した。公衆衛生 上の影響についてのより綿密な考察と、さらなるリスク減 少手段の特定のため、全ての歯科治療のリスクについて 詳細で包括的な評価を早急に行うことも重要である。
												異型クロロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Prion 2007. 2007年 9月26-28日 Edinburgh P04.51	73歳の受血者で生前に特定されたvCJDの非典型的な症状 の報告である。患者は1997年12月に輸血を受けたが、供 血後にvCJDを発症した供血者由来の赤血球製剤であつ た。輸血から6年後、受血者は疲労及び集中困難を訴え たが、神経学的検査及び脳MRIは正常であった。この6か 月後に神経学的症状が発現し、進行したが、血清学的検 査は正常であった。MRIでは視床背側核全体の顕著な信 号変化が示された。vCJDの長期潜伏期間と無症候状態 は、重大な公衆衛生問題を提示する。
												異型クロロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Prion 2007 P04.102 2007年9月28-28日	1987年6月から1998年9月にかけて出荷された計175バツ 子の血漿製剤中に、後にvCJDと診断された11名からの 供血が含まれていたが、これらの製品に関係したvCJD症 例は今までのところ全く報告されていない。これは赤血球 輸血によると思われるvCJD感染が3例あることと対照的 である。血漿分画製剤の製造工程によるプリオン除去効 果を調べたところ、2.7~11.5log以上の除去能があること が明らかとなった。
												HIV	Clin Infect Dis 2007. 45: e68-e71	ボツワナで急性HIV-1感染スクリーニング中に特定された 抗体陰性のHIV-1サブタイプC感染の初の症例を報告す る。HIV-1抗体検査の結果は、迅速検査、通常の酵素免 疫測定法及びウエスタンブロットで全て陰性であった。遺 伝子組換えがないHIV-1サブタイプC感染は、ウイルスの gag, pol及びenv遺伝子のジェノタイプングによって確定さ れた。臨床的に安定した状態からAIDS関連死までの期間 は約3か月だった。サブタイプCが優勢なアフリカ南部にお ける血清学検査陰性HIV-1感染の調査の重要性が示さ れた。